

温かな眼で日常を掬い取り、物語の向こう側を描く、
著者10年ぶりのエッセイ集。



本書を編むことは、
文学が自分の生活、人生をどれほど
大事な部分で支えているか
再確認する作業でもありました。

——小川洋子

(「あとがき」より)

写真 宇壽山貴久子
河出文庫

小川洋子 遠慮深いうたた寝